



UMEX 夢っくす ニュース

# かわらばん 9・10月

新入生歓迎BBQに参加して

高橋 真奈美



写真右が高橋さん

7月に夢っくすに入会し、今回、初めてイベントに参加しました。秋晴れの空の下、BBQを囲みながら、おいしく楽しいひとときを過ごすことができ、夢っくすに入会して本当によかったなと思いました。今回のイベントの中で、さすが国際大学と思ったことがあります。それは、肉を焼く鉄板を豚・鳥・牛に分けていたことです。宗教を持たない日本人同士の中ではまずありえない光景です。様々な文化や宗教をもつ人々が共に生活していることを実感しました。

そして、様々な国の学生と話す中で、もっともっと言葉を勉強したいという気持ちがいってきました。アジア圏から来た学生は、日本語を話せる人が多く驚きました。数ヶ月しか勉強していないにもかかわらず、流暢に話す学生もいました。また、片言ながらも日本語を話そうとする姿は、私も見習いたいと思

います。英語はもちろんのこと、他の外国語も学生から習っていきたいです。

今後も、できるかぎり多くのイベントに参加し、学生はもちろんのこと会員の方ともたくさん交流していきたいと思います。



春と一緒に田植えをした東下組小学校の皆さんにも参加していただきました



炭おこし、さんま焼きで大活躍の高橋勇さん。ありがとうございました。

## 金曜昼サロンギャザリング

高橋 和子



稲荷ずし作り体験の様子  
美味しそうですね

8月26日(金)に恒例となりましたギャザリングを行いました。当日はEビジネスの卒業式と重なってしまったので、学生さんが少なかったのですが、急遽夏休み中の英語研修に来て

いる新しい学生さん呼び込んでの会となりました。今回は会員の田中さんが稲荷ずしの用意をしてくださったので到着して間もない学生さん達はわけもわからないまま、稲荷ずし作りに挑戦となりました。でもまだ夢っくすの存在すら知らなかった学生さん達にはサロンの場所や夢っくすの活動などを知ってもらう良い機会になったのでは、と思っています。中には日本人の学生さんも何人かいらしたので、これからの外国人の学生さんとの橋渡し役として大いに期待したいところです。

次回9月30日を予定しております。また新しい学生さんが次々と来日していますので、新しい交流を深める場となることを期待しています。より多くの会員さんの参加もお待ちしております。

## 夢っくすの夏のパーティ

Jyldyz Kojobaeva

去る8月20日の納涼会に参加していただいた、IUJの学生ジルディスさんから当日の感想が寄せられました。今回の感想を、すべて日本語で書いてくれたジルディスさん。ありがとうございました。

夢っくすの夏のパーティはとっても良かったです。SD1の二階で食べたり、話したり、踊ったりしました。そこで初めて枝豆を食べてみました。日本の食べものはだんだんおいしくなりました。そして踊りが大好きだから楽しかったです。夢っくすの人たちはとても親切で、面白いです。そして日本のいろいろな習慣の説明が良くできます。それで学生に分かりやすいです。夏のパーティで10人ぐらいの学生が着物を着て綺麗になりました。最後には花火を見せてもらいました。自分でも花火をしました。とても綺麗で面白かったです。私はそのパーティに行くととてもうれしかったです。夢っくすの人たちにそのパーティを企画していただいてありがとうございました。



浴衣姿のジルディスさん(写真左)。お隣の男性は、旦那さんです。

## A visit to the Moegi-en festival

去る7月23日(土)、夢っくす会員の鈴木なつ子さんの発案により、南魚沼市(旧六日町)にある萌気園まつりに、学生さんたちとともに参加してきました。ミャンマーからの留学生、ティンティンさんからのレポートです。



お祭り開場でのスナップ。  
写真右が鈴木なつ子さん。

We visited Moegi-Festival with UMEX members who create a positive social network among international students from IUJ and give a lot of supports to them with a great interest. We, students from IUJ, wore beautiful Yukatas and enjoyed happily in the festival. Moegi-en is a nursing and personal care institution for

the old aged people. This festival has been organised by Moegi-en's staffs who look after the old aged people. We noticed that Japanese are very obliging and hospitable people when I visited in this Summer Festival at Moegi-en. . The mainstream purpose of this festival is to create happiness & remembrance for the old aged people about a traditional way of Japan. Family spirit plays a significant role in that affair, implying thereby that the festival seemed to focus more attention on a wide range of people issues than others. Old ages represent the first line of contact of observers. Charitable deeds and reinforcement towards the old aged people could retain the sense of cohesiveness and integrity, yield a level of profit that not only can grasp positive perception & constructive attitudes of diverse set of people but also can satisfy their stakeholders: especially students from Myanmar, Vietnam, Kyrgyz, China and Ghana.

This festival provides ample opportunity and benefits to visitors: for example, we can clearly observed Japanese spirit in this event, including team work, initiative & dedicated behaviors, strong commitment & confidence, cooperation, coordination and thrust-worthy spirit ect. Not with standing the fact that this is a small event, we noticed that there was an efficient & effective Human Resource Management in it. Motivating people, giving recognition & respects to other people and retaining satisfaction among them are primary items of creation a good human relation net-work. Japanese people know very well how to pay respects to the old & other people. I think that this festival is formal and traditional one but we can observe Japanese way of life and their culture clearly. The most remarkable thing is that they can persuade the people from other different countries by creating positive communication network among them. They can retain not only intra-communication network among the Japanese people but also inter-communication network between foreigners and Japanese people. The real truth is that they



ティンティンさん

## Thin Thin Myint

are very good motivators who can attract other people into Japanese traditional life & culture Delicious Japanese foods (yakisova, ohnigiri, suika etc.), interesting dance & magic show (htegina) pleasant songs are major attraction of the festival. Water melons are so sweet that can catch up all of our attention. We noticed that the sweetest watermelons are! We, students from IUJ enjoyed very much in such a great kind of festival which shows a good deed of paying respect and great care to the old-aged people. I do hope that Japanese people can achieve their success by doing such kind of noticeable deeds: paying special attention to the old and paying recognition to all people. According to motivation theory, enhancing motivation can lead to meeting an organizational objective We would like to draw our conclusion that this festival shows substantial memorable Japanese performance, referring to motivated behaviors that lead to meeting their desired goal. Therefore, we can assume that we visited to the fantastic trip of Moegi-en festival!

Thin Thin Myint



浴衣姿で記念写真。皆さん、とても似合ってますね。

## 日本語プログラム担当からのお知らせ

夏の間、学生が少なくなりひっそりと静まり返っていた国際大学のキャンパスに、新入生が続々とやってきて賑やかになってきました。夢っくす日本語プログラムも学生さんの希望を聞きながら、国際大学の新学期に合わせて10月中旬に再開します。会員と外国人が1対1でペアになり、週に1回1時間程度日本語で会話を楽しむ「日本語チュータープログラム」では、この秋から会話パートナーをやってくださる方を募集します。外国人側はある程度日本語が話せる方が対象ですし、異文化交流を楽しみたいとお考えの会員なら、英会話力や特別な資格がなくてもどなたでも参加できます。興味のある方はぜひご連絡ください。また、これまでにすでにチューターとして協力してくださっていた方で、10月からも引き続きお引き受けくださる方は、活動できる曜日や時間、その他の希望などをあらかじめご連絡いただくとマッチングがスムーズにいくと思います。皆さまのご協力をお願いいたします。

日本語プログラム担当：おおひら悦子

## 長岡まつり大花火大会

8月2日(火)に学生や先生と一緒に長岡まつり大花火大会に行ってきた。夏休み期間中は多くの学生は帰国したりインターンシップに出かけたりしているので、キャンパスに残っている学生は皆、花火を見に行けるのをとても喜んでいました。

浦佐駅から皆で電車に乗って長岡に行き、そこから大手大橋に向かって歩き、ウオロクに辿り着くと、その歩道にシートを敷いて先ずは場所を確保し、次にウオロクや周辺の屋台で食べ物や飲み物を調達してから、皆で腰掛けて花火を見ました。

学生にとってはこんなに大きな花火大会は初めてらしく、歓声を挙げたり写真を撮ったりではしゃいでいて、企画した夢っくす会員である私達にとってもとても嬉しく思いました。

花火も終わりに近づき、帰りの電車が混むといけないうので早めに後片付けをして、長岡駅に向かっていたところ、最後に震災復興祈願花火「フェニックス」が揚がりました。

大きな花火を見慣れている日本人の私達にとっても、信濃川河川敷一面から揚がる花火は初めてであり、その壮大な光景にとっても感動しました。

学生には日本人の花火好きは解ってもらえたようですし、とてもよい思い出になったようなので、できればこの企画は来年も続けたいと思います。



### 運営委員紹介の訂正とお詫び

かわらばん35号の第4回総会報告にて、監事：木村武雄 氏の名前の記載が抜けておりました。訂正して、お詫びいたします。

(広報部)

## 森山 俊行



## 今後の予定

### ●金曜昼サロン昼食ギャザリング

9月30日、金曜昼サロンの時間帯に、昼食ギャザリングが催されます。新しい学生さんが次々と来日していますので、新しい交流を深める場となることを期待しています。より多くの会員さんの参加もお待ちしております。

開催日：9月30日(金)

時間：12:00-15:00

場所：夢っくすサロン

連絡先：025-779-1520

025-779-1180(FAX)

office@umex.ne.jp

### ●稲刈りツアー

春の“田植えツアー”で田植えをした田んぼに、学生たちとともに稲刈りに出かけます。地元の小学生と親御さんたちとの交流ももたれます。収穫のよろこびを、ともに分かち合ひましょう。

開催日：10月2日(日)

時間：10:00-15:00

場所：旧東下組小学校(集合はIUJ正面玄関)

連絡先：久保田 豊昌 090-5763-7903

office@umex.ne.jp

### ●八海山登山

新入生歓迎BBQに参加した学生たちのリクエストにより、今年も八海山登山を計画しました。一緒に登って下さる方は、ご連絡下さい。国際大学玄関に8時集合、ロープウェイ駅に8時半頃到着し11時頃山頂に到着、山頂で昼食をとり3時頃下山予定です。ロープウェイ代金と昼食を持参願います。

開催日：10月9日(日)

時間：8:00-15:30

連絡先：井口義夫 090-5329-8234

iguti440@cameo.plala.or.jp

### ●キッズサロン “もっと知ろうともだちの国”

魚沼広域連合の「ふるさと市町村圏基金事業」による小・中学生のための国際交流イベントを下記により開催します。

1. 世界の子供たち(地雷や貧困の中で生きる子供たちの話を聞きます。) 2. 韓国料理(韓国人講師と一緒にちぢみを一緒に作ります。) 3. 英語であそぼ!(ゲームなどを通じて英語を楽しく学びます。)

開催日：10月16日(日)

時間：13:00-16:00

場所：働く婦人の家(浦佐駅西口より徒歩3分)

連絡先：025-779-1520

025-779-1180(FAX)

office@umex.ne.jp

## 韓国紀行

暑さも何のその期待に胸弾ませて機上の人となったのは7月28日4時半、夕闇せまる頃ソウルのホテルに着いた。メンバー5人の中3人はホテル内のエステに走り他の2人は部屋で一休み、そしてUMEXメンバーの山口さん(韓国の人)兄妹のガイドで観光が始まりました。まず行ったのが庶民食堂。そこで腹ごしらえしてから夜の街を散策。真昼のように明るい町中は人でいっぱいその賑わいにパワーをもらい帰館。翌日は街頭で円をウォンに替えてもらい南大門でつまみ食いをしながらショッピング。どの店も呼び込みの声で活気がみなぎっていた。お昼は観光客などめったに行かない裏通りの7, 8人で満席になるような小さなお店で地元の人と笑顔を交わしながら韓国ならではの珍しい料理でお腹を膨らませて次の目的地である民族資料館へ出発。高速で一時間半かけて着いたそこには広い駐車場と広大な敷地の中に昔の韓国がありました。テーマ毎に別れている昔の生活様式はどれも必見物でした。中でも私の心をつらえたのは夕暮れの農村での生活風景でした。「私の心のふる里ってこうゆう所なのよ」思わずつぶやいてしまいました。風土に合わせて快適に暮らせるように工夫された建物にも感心しました。また模擬ウエディングセレモニーでは日本の儀式に似た所があり出席者の一人になったような幸せな気分になり有意義で楽しい時間を過ごす事が出来ました。再び来るまでソウル市街に向かい途中で大きな食料品のショッピングセンターに寄りました。種類の多さと量の豊富なのにビックリし目移り気移りしながらお土産をゲット。夕食は75年間タレの味を変えていないと言う焼肉の老舗でゆっくり晚餐会。夜も更けて夜景の美しいスポットに案内して頂いたのに生憎ガスっていてボンヤリとしか見る事が出来ず残念でした。見たい所を残しての帰国は心残りです。旅行日程の不足を痛感した旅でした。

## 田中 信

日	月	火	水	木	金	土
9/25	26	27 夢っくすサロン	28	29	30 昼サロンギャザリング 12:00-15:00	10/1
2 稲刈りツアー 10:00-15:00	3	4 夢っくすサロン	5	6	7 夢っくすサロン	8
9 八海山登山 8:00-15:30	10	11 夢っくすサロン	12	13	14 夢っくすサロン	15
16 もっと知ろう友達の国 13:00-16:00	17	18 夢っくすサロン	19	20	21 夢っくすサロン	22
23	24	25 夢っくすサロン	26	27	28 夢っくすサロン	29

★★会員紹介コーナー★★

会員No. 280 高橋真奈美 さん

①中南米の国たくさん！②スペイン語、フランス語③楽しく体を動かすこと、旅行、お菓子作り（スコーン作りにはまり中！一応、イギリス人直伝！！）④IUJにできるだけ足を運んで、たくさんの人と話をすること。イベントにたくさん参加すること。スペイン語を教えてくれる学生がいたら、うれしいです。英語ももっとーと勉強したいです。⑤日本語チューター（言葉って奥が深いですね。⑥どんな人と知り合えるか、どんな話が聞けるかとても楽しみです。よろしくお願いします。



日本語チューターのパートナーの学生さんとともに。一番右が高橋さん。

- ①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技
- ④夢っくすでやってみたいことは⑤今やっている国際交流⑥一言どうぞ！

From 事務局

新学期の開始とともに、サロンの使用スケジュールが変更になります。英会話・日本語会話教室のスケジュールが確定し次第、新しいスケジュール表をサロンに掲示しますので、サロンを利用する際の参考にさせていただきます。

サロンやイベントを訪れる際に会員証を身に着ける習慣が定着してきました。皆様のご協力に感謝いたします。今後もIUJを訪れる際は、会員証をお忘れなく。

この時期多くのIUJの新入生がサロンを訪れています。今までサロンに来た事のない会員の方は、この機会にサロンに体験されてはいかがでしょうか。お待ちしております。

新会員のご紹介

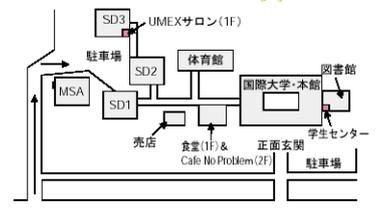
- No281 田中妙子さん（魚沼市）
- No282 田端かよ子さん（魚沼市）
- No283 橋富士子さん（魚沼市）
- No284 金山京子さん（南魚沼市）
- No285 平井満里子さん（南魚沼市）
- No286 樋口真実さん（南魚沼市）

☆みなさん、よろしくお祈りします☆

UMEX うおぬま国際交流協会  
UONUMA Association for  
Multicultural EXchange



〒949-7277  
新潟県南魚沼市国際町777番地  
国際大学内 UMEX事務室国際交流サロン  
TEL:025-779-1520/1439  
FAX:025-779-1180  
E-Mail: office@umex.ne.jp  
URL: http://www.umex.ne.jp/



担当者連絡先

- サロン 高橋:025-773-3123
- イベント 久保田:090-5763-7903
- 多言語支援/外国語 柳瀬:025-792-0888 日本語 大平悦子:025-792-9840
- 研修 井口:090-5329-8234 事業 武田:090-3648-4862
- 広報 高津戸:090-3642-1041 事務局 渡辺:090-5782-8523

【編集後記】

新学期が近づくとつれ、サロンを訪れてくれる学生さんの数が多くなってきました。『夢っくすって何?』という疑問を持ちながらサロンを訪れてくれる新入生の皆さんの好奇心に触れるたびに、いつも新鮮な刺激を受けています。新入生の皆さんにも、夢っくすの活動を楽しんでもらいたいと願います。（渡辺）